



2007群馬大会(3.5MHz)
での判断と行動

2007年5月13日(日)
於 群馬太田市金山の森

安島 巧

500m

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

とはいうものの...

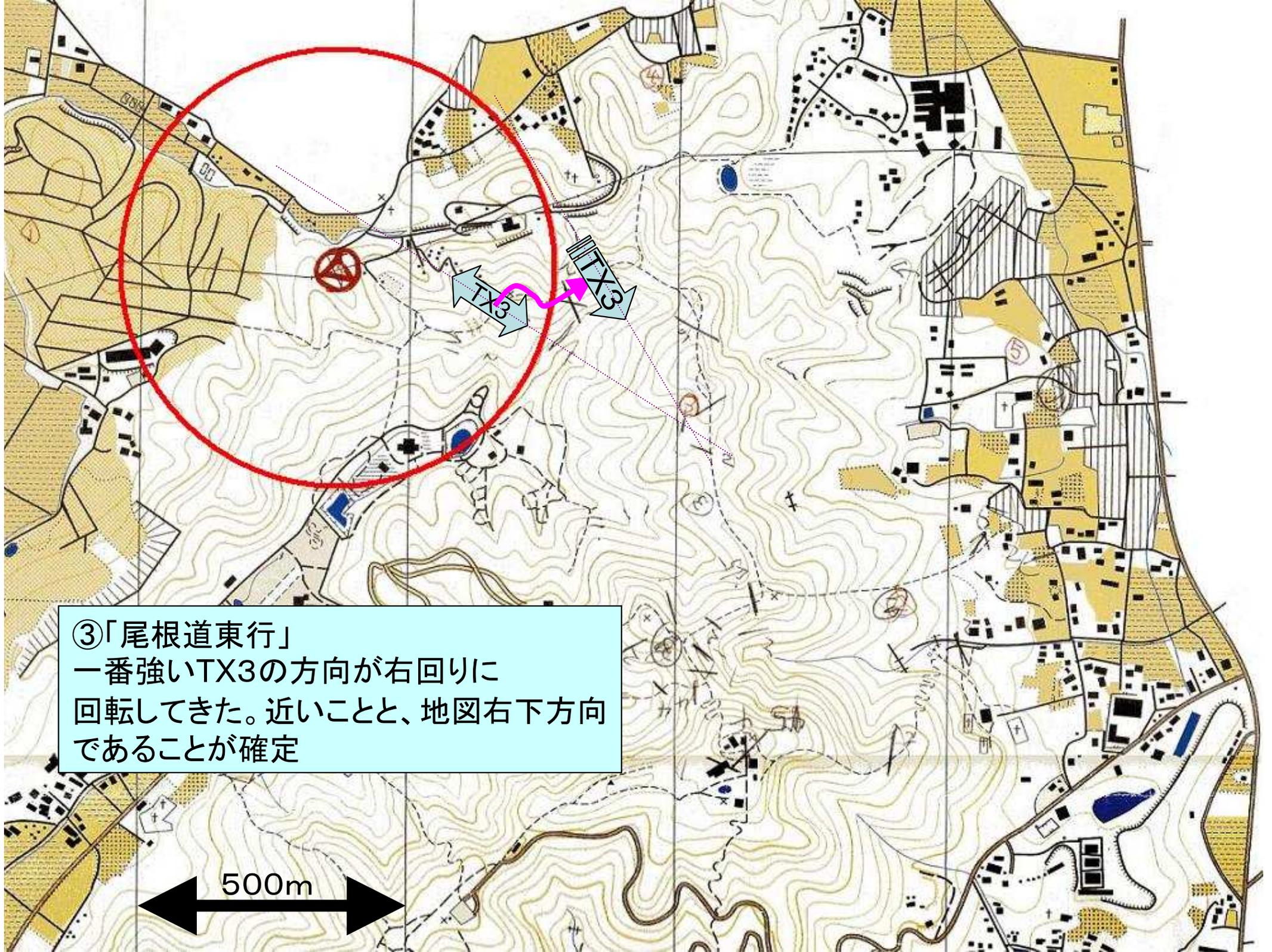
今回の大会は、私にとって非常に不満足な結果で、自分は今度も下手だったのかと痛感した大会でした。ゲットTXは3つ（しかしクラス有効TXは2つ）、しかも偶然に見つけたようなもの。

不要な山登りをしてしまい、体力と時間ロスをしてしまいましたし、近くを通ったTXをゲットできなかつたりと散々でした。

ということで、大変恥ずかしいレポートとなってしまいますが、記録ということで書いてみます。



②「まず登った」
スタート後、メインストリートに沿って山に登る。登ってきて、3.5MHzの鉄則を忘れていたことに気づく。自分の受信機は前後方向がよくわからないので、地図の外周から攻めなければいけなかったことを。TX3が強い。近そうだ。TX4は受信できるが、方向が全くわからない。いずれにせよ、地図右側のほうがTXが存在する確率が高いので、そのまま進む。



③「尾根道東行」
一番強いTX3の方向が右回りに
回転してきた。近いことと、地図右下方向
であることが確定

500m

④TX3

南北に走る尾根道に出て、TX5が強くなった。これでTX5の方向が確定。しかし、M40では不要なTX。TX5は緑領域にあると推定。

藪に入っている人がいる。これはTX3が至近距離だ。

尾根を登っていくと、何人かベテランが逆走してくる。「行き過ぎたか」と不安がよぎる。

しばらく行って、難なくTX3をゲット

500m



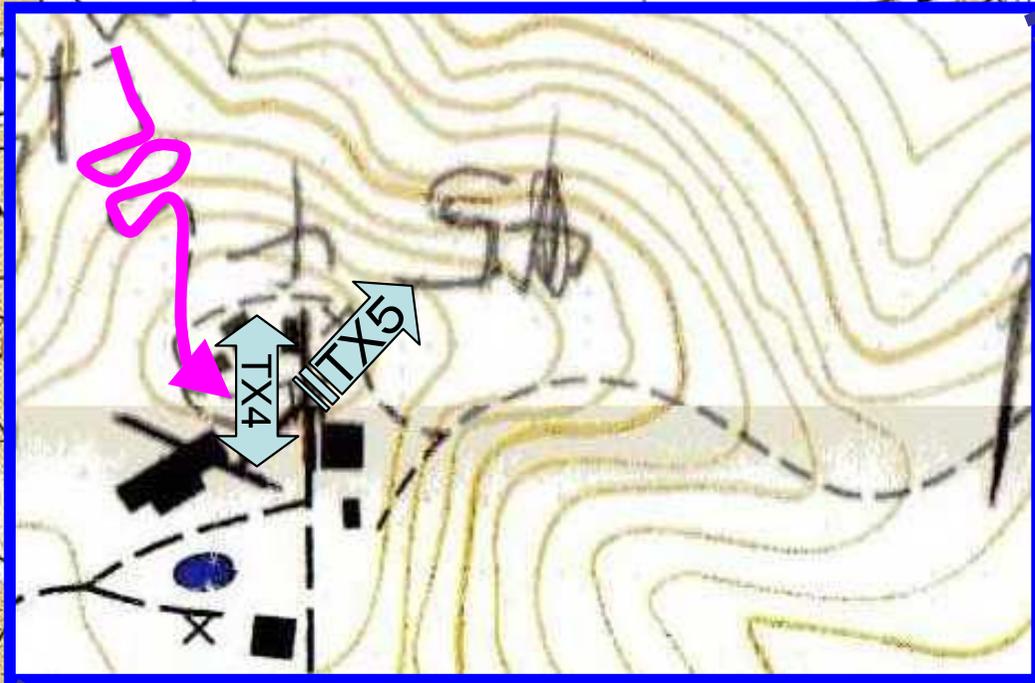
⑥「心臓破りの坂を経て、頂上の神社へ」

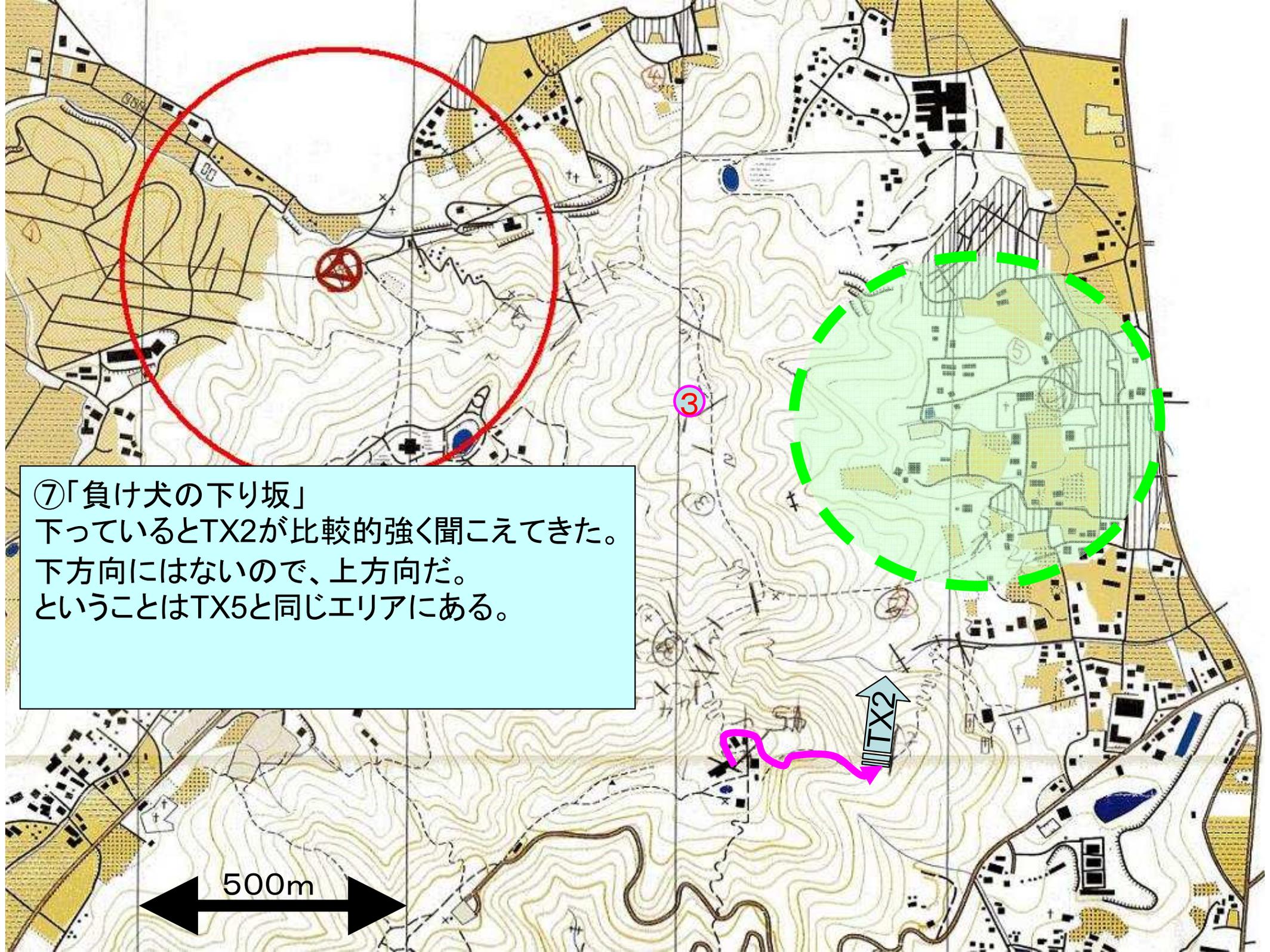
日頃の不摂生で、肉体だけでなく精神もへトへト。測向していても頭が動いていない。神社の石段に腰を下ろし、5分×2回も休んでしまった。

ここで、地図下半分にあるTXが強力に入ってくるはず。しかし、弱い。よって地図下半分(黄領域)にはTXはないと確信。

③

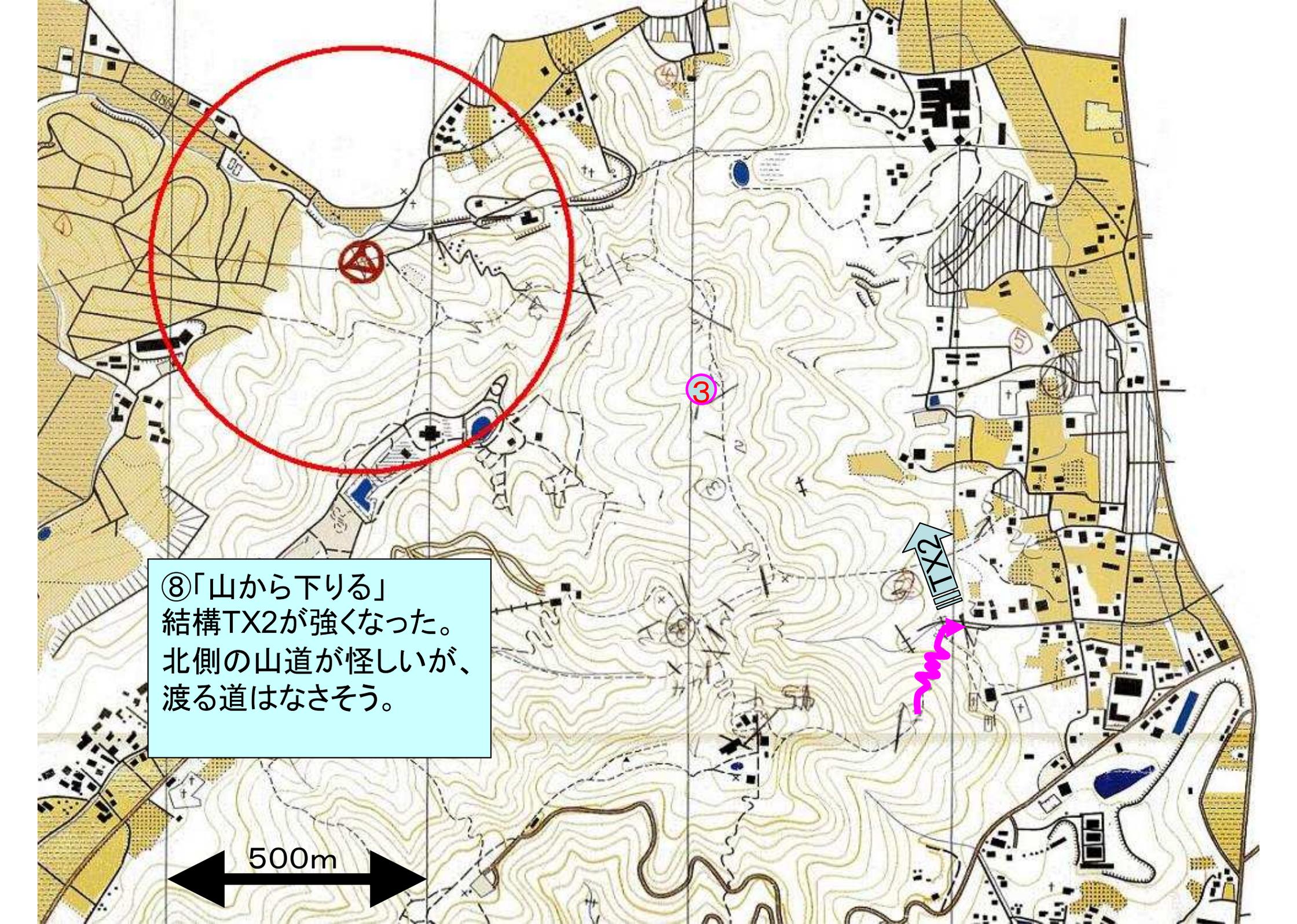
もう精神的には負け犬状態。「(地図右側にある)TX5をとって帰ろう」





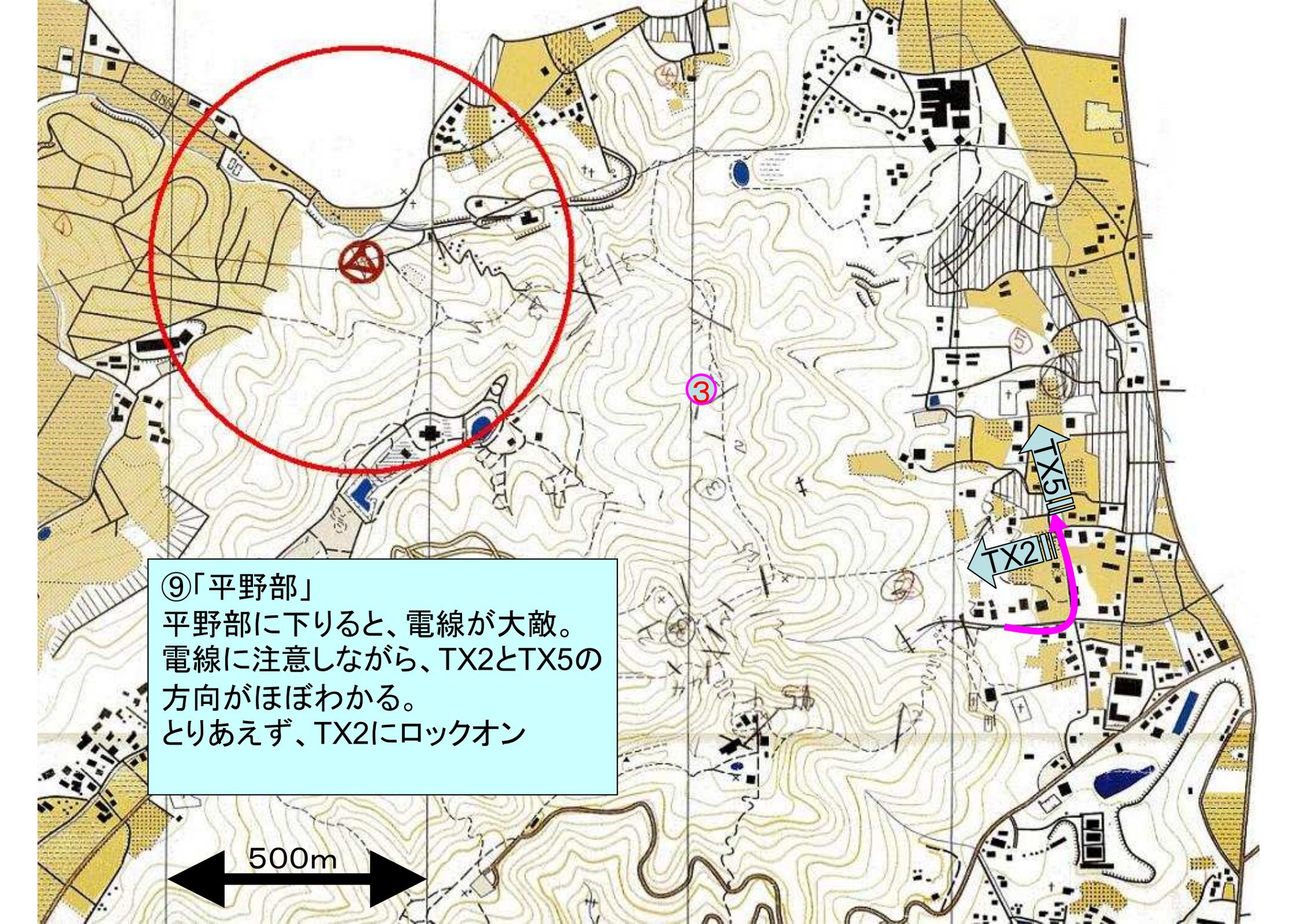
⑦「負け犬の下り坂」
下っているとTX2が比較的強く聞こえてきた。
下方向にはないので、上方向だ。
ということはTX5と同じエリアにある。

500m

A topographic map showing a mountainous area with contour lines, buildings, and roads. A red circle highlights a specific location in the upper left. A pink circle with the number '3' is on a road in the center. A blue arrow labeled 'TX2' points towards the right, with a pink wavy arrow pointing to it from below. A scale bar at the bottom left shows 500m.

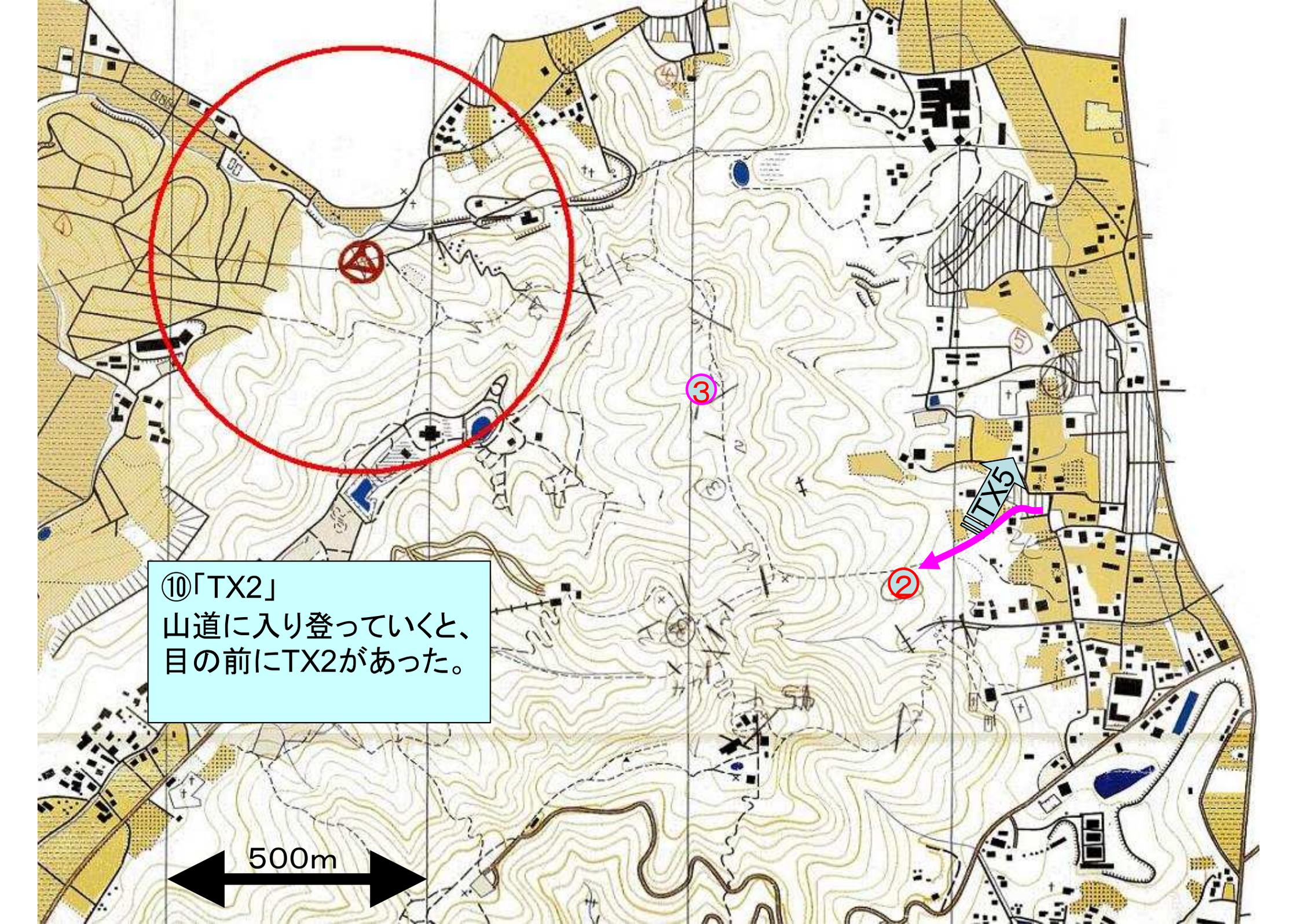
⑧「山から下りる」
結構TX2が強くなった。
北側の山道が怪しいが、
渡る道はなさそう。

500m

A topographic map showing a valley with contour lines. A red circle highlights a specific area on the left side of the valley. A pink circle with the number '3' is located in the center of the valley. Two blue arrows labeled 'TX2' and 'TX5' point towards the right side of the map. A pink arrow points from the 'TX2' label towards the 'TX5' label. A scale bar at the bottom left indicates 500m.

⑨「平野部」
平野部に下りると、電線が大敵。
電線に注意しながら、TX2とTX5の
方向がほぼわかる。
とりあえず、TX2にロックオン

500m

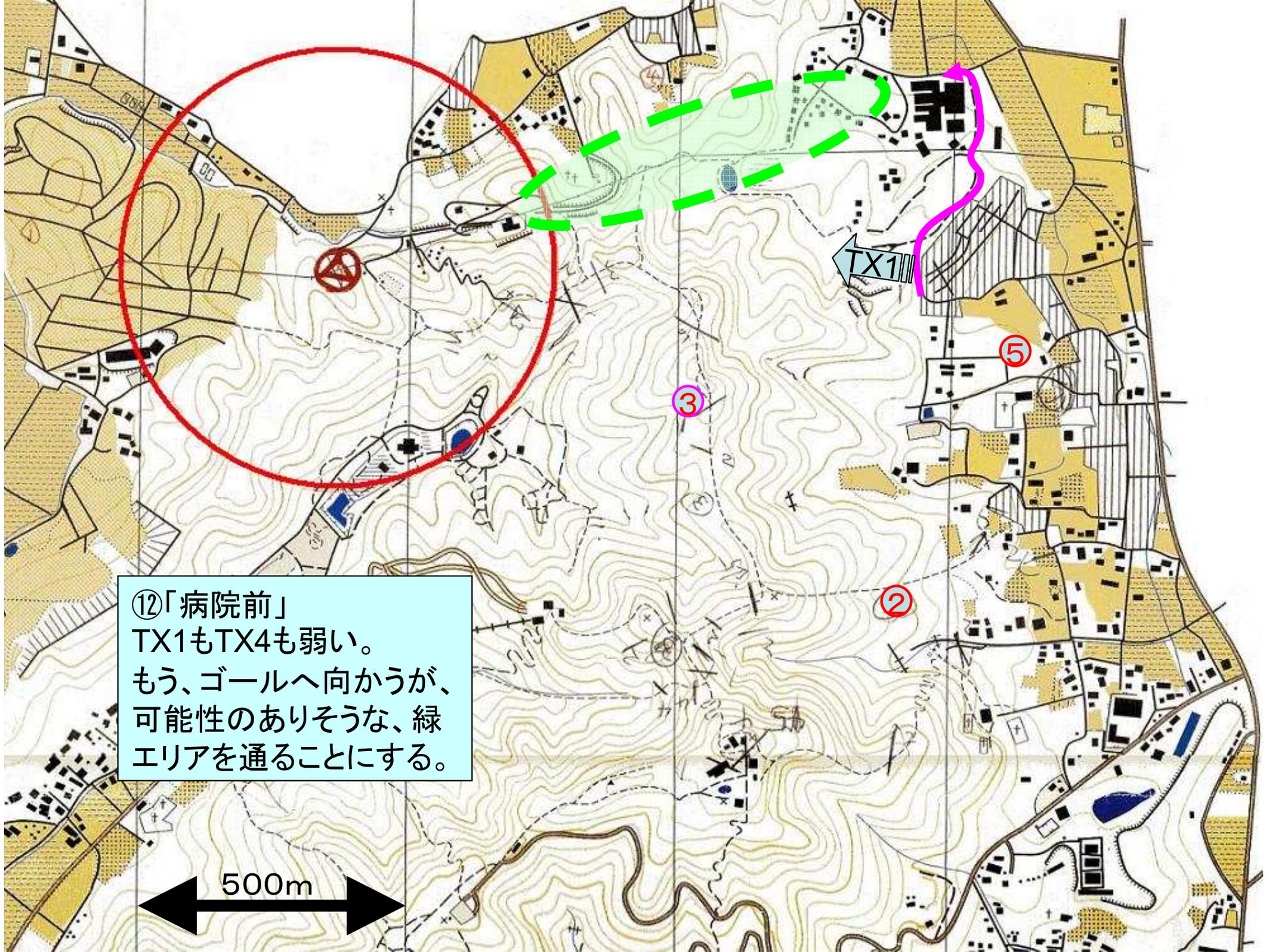
A topographic map showing a hilly area with contour lines, roads, and buildings. A red circle highlights a specific location on the left side of the map. A pink arrow labeled 'TX5' points from a building on the right towards a red circle labeled '2'. A pink circle labeled '3' is located in the center of the map. A scale bar at the bottom left indicates 500m.

⑩「TX2」
山道に入り登っていくと、
目の前にTX2があった。

500m

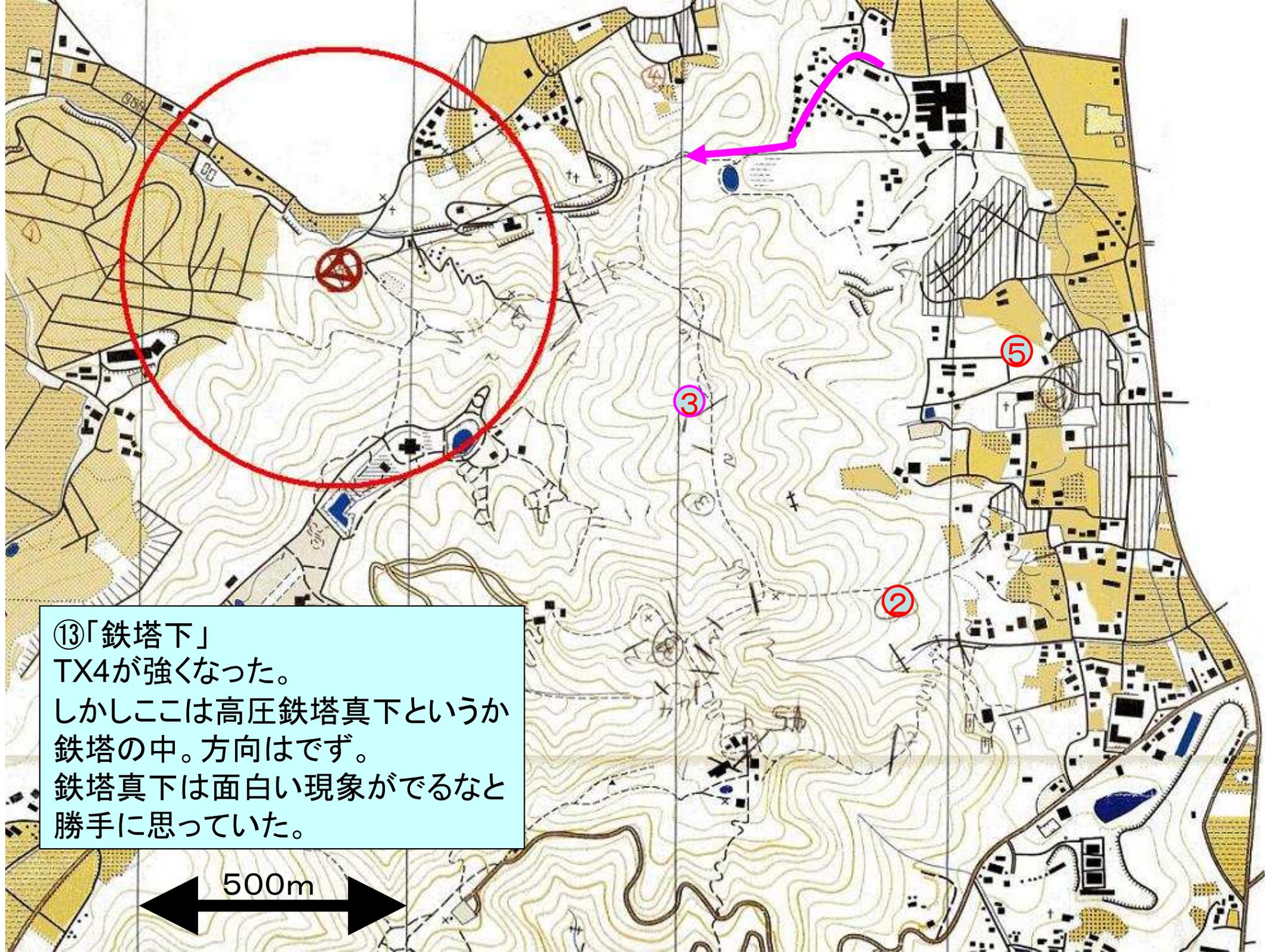
⑪「TX5」
人気のない神社仏閣と
隣接した公園。
あまりにもありそうな場所。
公園に入ると目の前にTX5





⑫「病院前」
TX1もTX4も弱い。
もう、ゴールへ向かうが、
可能性のありそうな、緑
エリアを通ることにする。

500m



⑬「鉄塔下」

TX4が強くなった。

しかしここは高圧鉄塔真下というか
鉄塔の中。方向はです。

鉄塔真下は面白い現象がでるなと
勝手に思っていた。

500m

おわり

⑭ゴール

TX1へ行く時間もなく、ゴール。
答えを見て啞然。「TX4はあんなに近くを
通ったのに...」
そして脚力のなさを痛感。「走ったのは、
スタートから受信開始地点まで」
そして自分の探索能力のふがいなさを
反省「自分の探索の基本を忘れていた」

ゲットしたのは②、③、⑤だけだが、設置そのものは分かり易い設置方法だった。
比較的TX間の距離もなく、徒歩ARDFerの私向きのコースセッティングであったにも
関わらず、無駄な体力と時間を使ってしまって、ふがない結果に終わってしまった。
受信機もきちんと整備しなければならないし、3. 5の探索をもう一度勉強しなければと
反省する大会であった。

500m